

St. Luke's International University Repository

Attempt to Interact with Graduate/ Undergraduate Freshmen, Current Students, and Graduates: Report on Welcome Party for New Students

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐居, 由美, 坂田, 三允, 小林, 真朝, 平田, 美和, 島田, 裕司, 彦田, 美代子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.34414/00000134

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



学部／大学院新入生・在校生と同窓生の交流の試み ～新入生歓迎会報告～

佐居 由美¹⁾ 坂田 三允²⁾ 小林 真朝¹⁾ 平田 美和²⁾ 島田 裕司³⁾ 彦田美代子³⁾

Attempt to Interact with Graduate/ Undergraduate Freshmen, Current Students, and Graduates ～ Report on Welcome Party for New Students ～

Yumi SAKYO¹⁾ Miyoshi SAKATA²⁾ Maasa KOBAYASHI¹⁾
Miwa HIRATA²⁾ Yuji SHIMADA³⁾ Miyoko HIKOTA³⁾

[Abstract]

St. Luke's Alumni Association, Saitama Chapter, has been planning and managing the "Welcome Tea Party" since 2018 with the support of St. Luke's International University and St. Luke's Alumni Association. This Party is held in April to encourage interaction among new students, current students, and alumni as well as to make announcements about alumni' activities. There were 39 participants in FY2018 and 59 participants in FY2019. A web questionnaire survey was conducted after the meeting. The survey showed that 87.0% of participants from FY2018 (20 out of 23) and 88.5% of participants from FY2019 (23 out of 26) responded with, "It was very good to participate." The responses included free descriptions such as "A wide range of people gathered, and it was very helpful to hear from many seniors about useful stories for the future," and "I was a bit at a loss, such as whether to continue studying at the university or start looking for a job, but I was able to see a direction for the future, and it was good to participate." Thus, the responses suggest that this exchange event has significance because new and existing students interact with alumni of various ages, which helps to address their current anxiety and examine future paths.

[Key words] interact, Freshmen, current students, alumni, Alumni association

[要旨]

聖路加同窓会埼玉県支部では、聖路加国際大学および聖路加同窓会の支援を得て、2018年度より、交流会「ウェルカムお茶会」を企画運営している。この交流会は、新入生、在校生、同窓生の交流および同窓会活動の周知を目的に4月に開催している。2018年度は39名、2019年度は59名の参加者があった。終了後にwebアンケートを実施したところ、「参加してとてもよかった」との回答が、2018年度87.0%（23名中20名）、2019年度88.5%（26名中23名）であった。自由記述には、「幅広い年齢の人が集まっており、多くの先輩に今後役立つ話を聞けてとても参考になりました」「大学での学習や就活など少し迷いがありましたが、これからの方向性がちょっと見えてきて、参加して良かった」などの記載があった。以上より、本交流会は、新入生や在校生が様々な年代の同窓生と交流することにより、現状の不安や今後の進路を検

1) 聖路加国際大学大学院看護学研究科・St. Luke's International University, Graduate School of Nursing Science
2) 聖路加同窓会埼玉県支部役員・St. Luke's Alumni Association, Saitama Prefecture Branch
3) 聖路加国際大学事務部・St. Luke's International University, administration

討するうえでの助けとなるという意義があることが示唆された。

【キーワード】 交流， 新入生， 在校生， 同窓生， 同窓会

I. はじめに

筆者らが役員を務める聖路加同窓会埼玉県支部は、2018年度より支部活動の一環として、聖路加国際大学新入生を対象に歓迎会（名称：ウェルカムお茶会）を企画運営している。本歓迎会の目的は、新入生、在校生、同窓生の交流の促進をはかると共に、同窓会活動を周知することである。開催にあたっては、聖路加国際大学の全面的な支援を受けている。2019年度には、聖路加同窓会本部および事務局の後援を得て、さらに規模を拡大して開催するに至った。本稿では実施後のアンケート結果と共に、交流を目的とした本歓迎会（以下、交流会）について報告する。

II. 交流会の実際

1. 開催時期および告知方法

交流会の開催日は、新入生の4月入学後からゴールデンウィークまでの期間である4月中旬～下旬とし、時間割にて学生が参加しやすい曜日を確認し、金曜日とした。開始時間は、5コマ目終了後の17時45分からとした。終了時間は、2018年度18時45分、2019年度は30分延長して、19時15分とした。

交流会周知のため、新入生および在校生のグループメールアドレス宛に開催案内を送付した。また、フライヤーを作成し、学内の掲示板およびデジタルサイネージにて告知した（写真1）。参加人数を把握するため、応募用サイトをグーグルアンケートにて作成した。2019年度には、学部新入生が参加するオリエンテーションセミナー会場にて、2018年度に参加した上級生の協力を得て告知しフライヤーを配布した。



写真1：デジタルサイネージによる告知（2019年度）

2. 参加者

当日の参加者は、2018年度は39名（事前申込27名、当日参加12名）であった。内訳は、学部1年生14名、学部2年生5名、学編3年生7名、修士院生4名、博士院生1名、卒業生8名であった。

2019年度は、59名（事前43名、当日16名）の参加があり、学部生38名、院生5名、卒業生7名、同窓会関係者・職員9名であった。参加申し込み時に記入のあった35名の参加者の出身地は、東京都12名、神奈川県6名、千葉県4名、愛媛県3名、埼玉県3名、静岡県2名、宮城県1名、秋田県1名、富山県1名、和歌山県1名、未記載1名であった。

3. 交流会プログラム

2018年度の交流会プログラムを、表1に示す。支部長の挨拶にて開会し、スライドを用いて聖路加同窓会の活動を説明した。2019年度には、関西支部、新潟支部、神奈川県支部、埼玉県支部から届いた新入生への歓迎メッセージが紹介された（写真2）。

その後、参加者のひとりひとりが自己紹介を行った（写真3）。2018年度の参加者の出身地は、北海道から九州ま

表1 2018年度ウェルカムお茶会プログラム

1. 埼玉県支部長挨拶
2. 聖路加同窓会および支部紹介
3. 参加者自己紹介
4. 支部銘菓紹介／歓談
5. 先輩・OB への質問タイム
6. 閉会挨拶

埼玉県支部

2019年度入学生の皆様
ご入学おめでとうございます

<設立> 2016年8月
<会員数> 286名
<目的>
聖路加国際大学建学の精神を継承し、会員相互の親睦と啓発をはかり、埼玉県の看護・保健・医療・福祉等に貢献するとともに母校の発展に寄与すること。
<活動>
毎年1回、支部総会およびシンポジウムを開催しています。新施設見学会を行なった年もあります。支部会員のネットワークを活かす方策を検討中です。

2016年度

2017年度

2018年度

写真2：支部からの新入生歓迎メッセージ（埼玉県支部）

で日本全国に渡っており、年代は、10代後半の新入生から80代後半の卒業生まで幅広くあった。自己紹介後は、軽食と支部銘菓を食しながら歓談の時間をもった。支部銘菓は同窓会の地域性を印象づけるために企画し、2018年度は埼玉県銘菓（五家寶など）、2019年度は同窓会全7支部*（2019年4月現在）の銘菓（鳩サブレ、柿の種、茶の菓など）を準備した。歓談の時間には、交流の輪が自然にでき、参加者が和やかに談笑する様子がみられた（写真4）。会が終了しても交流は続き、参加者の交流への関心の高さが伺われた（写真5）。

* 関西支部、秋田県支部、宮城支部、埼玉県支部、神奈川県支部、九州支部、新潟支部（創立順）

なお、本稿に掲載されている写真は、報告書等への掲載について交流会開始時に説明し承諾を得ている。



写真3：卒業生の自己紹介（2018年）



写真4：支部銘菓を囲んで（2019年）



写真5：会が終わっても歓談中

Ⅲ. 交流会の評価

交流会の活動を評価するため、会の終了後に、学内メールの把握が可能であった参加者を対象として、無記名のwebアンケート調査を実施した。2018年度は、2018年4月23日～25日に実施し、回答者は23名（回収率58.9%）であった。2019年度の回答者は26名（回収率60.5%）で、実施期間は2019年4月12日～22日であった。

1. 交流会の参加について（図1）

交流会への参加について、5段階にて回答を求めたところ、「5. 参加してとてもよかった」との回答が、2018年度87.0%（23名中20名）、2019年度88.5%（26名中23名）であり、「4. よかった」との回答が、2018年度4.3%（23名中1名）、2019年度11.5%（26名中3名）であり、「とてもよかった」「よかった」との回答が、両年ともほぼ9割を占めていた。「3. 普通」との回答が、2018年度8.7%（23名中2名）、2019年度0.0%（26名中0名）であり、「2. よくなかった」、「1 全くよくなかった」は、2018年、2019年共に0%であった。

2. 参加してよかった理由（図2）

「参加してよかった」と回答した理由について、選択肢をあげて問うところ、2018年度では、多い順に「卒業生との交流：21件」「支部銘菓：20件」「上級生との交流：18件」「軽食（ベーグル）：15件」「同窓会活動を知ることが出来た：12件」であった（複数回答）。2019年度は、

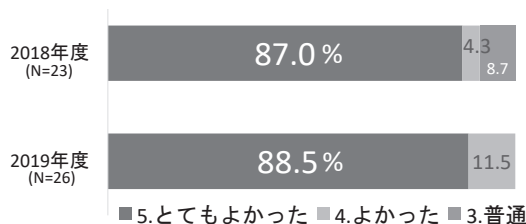


図1：ウェルカムお茶会に参加した感想

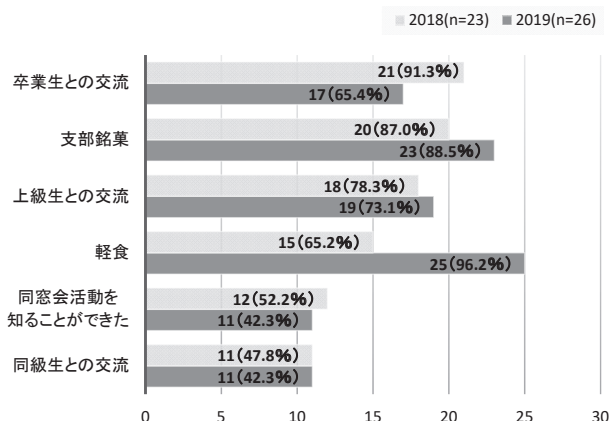


図2：参加してよかった理由（複数回答）

「軽食（おにぎり）：25件」「支部銘菓：23件」「上級生との交流：19件」「卒業生との交流：17件」「同窓会活動を知ることが出来た・同級生との交流：11件」の順で多かった。

3. 参加者の感想

参加者に交流会に参加しての感想を、自由記述にて求めた。

1) 2018年度：参加者の感想（自由記述）

2018年度は、自由記述に20件の回答があった（表2）。

その内容をみると、「長い歴史のある学校のため、看護の様々な分野で活躍している（してきた）大先輩よりお話を聞ける貴重な機会でした」、「聖路加の様々な代の先輩からお話を伺うことができとても光栄でした」などのように、【同窓生の話を聞く】ことで【貴重な機会】を得たという回答があった。また、「博士課程の先輩とも交流でき、違う視点から自身の分野のことを考える機会となった」「学年の違う方は、普段接する機会が少ないので、貴重な交流の場になりました」といった内容の記述があり、【普段接することのない学年と交流】することができる場

であったことが確認された。

他にも、「卒業生から看護師の仕事の内容を聞いてとても楽しかった」「いろんなお話ができ、視野が広がりました」といったコメントがみられ、経験豊かで様々な年代の卒業生や上級生と交流することで、参加者は新たな視野を得ることが出来ていると推測された。

また、「先輩から勉強のアドバイスをもらえた」「看護師になる上で基礎がしっかりしていることが本当に大切だと学んだ。勉強のモチベーションが上がった」といった記述から、参加者は学生生活に前向きに取り組むことにつながる体験をしていたことが伺われた。

「卒業してからも先輩や同級生とつながれて、相談し合える環境に安心しました」「横のつながりだけでなく縦のつながりもこれからは大切にして積極的に色々な方とお話しをしていきたいと思いました。今回のお茶会ではそのことを意識するきっかけとなってとても良かった」という内容もあり、卒業生や同級生との交流によって支え合えること、同級生の横のつながりだけでなく、上級生や下級生との縦のつながりの大切さを考えるきっかけを得て、学年の枠を超えた交流の意義を感じていた参加者もいた。

表2 2018年度「ウェルカムお茶会」参加した感想（自由記述：20件）

-
- ・様々な年齢の卒業生をしれて良かったです。
 - ・銘菓につられて参加したのですが、先輩方があまりに偉大で驚きました。特に助産学の第一人者でもある青木康子先生と出会えて、お話をさせていただいて、本当にうれしかったです。また、博士の先輩とも交流でき、違う視点から自身の分野のことを考える機会にもなりました。卒業生された大先輩や他領域の先輩、また学部の方とはなかなか交流する機会がないので、今回このような会があってよかったです。埼玉銘菓やベーグルもおいしかったです。ありがとうございました。
 - ・青木先生とお話できて、とても嬉しかったです
 - ・長い歴史のある学校のため、看護の様々な分野で活躍している（してきた）大先輩よりお話を聞ける貴重な機会でした。
 - ・聖路加の様々な代の先輩からお話を伺うことができとても光栄でした。貴重なお時間をありがとうございました
 - ・大学院に通っている先輩から訪問看護についてのお話を伺うことができました。訪問看護がどのような仕事なのかを少し知ることができてよかったです。緊張してしまい、先生方とはお話しができなかったので次回参加するときはもう少しお話をできたらいいなと思っています。埼玉銘菓はどれもおいしくてとても楽しかったです。ありがとうございました。
 - ・とてもおいしかったです。それから大学院の生徒さんの中に現役で働いていた方もいて、なかなか聞けない意見を聞くことが出来たのはとても貴重な体験でした。ありがとうございました。
 - ・卒業生の方や、学年の違う方は、普段接する機会が少ないので、貴重な交流の場になりました。またベーグルもお菓子も豪華で、すごく嬉しかったです！開催ありがとうございました。
 - ・お茶会でなければお話しする機会が得られないような方々と、いろいろなお話ができ、視野が広がりました。参加できて本当に良かったです。このような会をご準備下さった皆様に大変感謝しております。誠にありがとうございました。
 - ・卒業してからも先輩や同級生とつながれて、相談し合える環境に安心しました。ありがとうございました。
 - ・横のつながりだけでなく縦のつながりもこれからは大切にして積極的に色々な方とお話しをしていきたいと思いました。今回のお茶会ではそのことを意識するきっかけとなってとても良かったです。
 - ・先輩方など普段関わることのできない人とお話しできたことがとても嬉しかったです。もちろん埼玉の銘菓も美味しかったです。
 - ・先輩から勉強のアドバイスをもらえたことや、卒業生の方から看護師の仕事の内容を聞いてとても楽しかったです、ありがとうございました
 - ・看護師になる上で基礎がしっかりしていることが本当に大切だと学んだ。勉強のモチベーションが上がった。
 - ・食べ物も美味しかったですし、いろんな人のお話を聞くことができてよかったです
 - ・楽しかったです。また来年も参加できたらしたいです。
 - ・もう少し自由に気になった人と話せる時間があればいいな、と思いました！
 - ・とても美味しく楽しかったです！またぜひやってください！
 - ・とても楽しかったです！ぜひ、また開催してください！
 - ・参加者で円になっていた方がもっとよかったかなと思いました。院の先輩ともっとお話がしたかったです。
-

一方で、「もう少し自由に気になった人と話せる時間があればいい」といった意見があったため、2019年度の開催時間を30分延長した。

2) 2019年度：参加者の感想（自由記述）

2019年度には、22件の記述があった。記述内容を意味ある文節に分け（57件）、内容分類を行った（表3）。

その結果、「先生や先輩方のルカへの愛校心を知り、ル

カネットワークの強さに驚きと今後の心強さを感じました」といった【卒業生との交流（12件）】に関する内容が一番多く、自由記述においても参加者は、「卒業生との交流」に強い印象を持っていた。同数で【美味しい支部銘菓（12件）】に関連した記述が目立ち、「支部銘菓を頂けてとても美味しかったです。自分ではなかなか銘菓を食べる機会もないので凄く素敵な時間をもてました」などが記述されていた。次に、「幅広い年齢の人が集まってお

表3 2019年度ウェルカムお茶会に参加した感想（自由記述：22件）

卒業生との交流（12件）	<ul style="list-style-type: none"> ・聖路加卒の看護師の先輩と話せたのが一番よかったです！ ・実際に看護師として活躍されている先輩方の話を聞くことが出来て、とてもいい経験になりました。 ・先生や先輩方のルカへの愛校心を知り、ルカネットワークの強さに驚きと今後の心強さを感じました。 ・先輩がたとあまり話せなかったらどうしようと、不安だったのですが、想像していた以上に和やかな雰囲気です、これから先の大学生活や、就職後のことについていろんな人とお話できてとても大満足でした！ ・先輩などからも話を聞くことができ、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができ、このような機会を設けてくださりありがとうございました！ ・特に卒業して看護師として働いている方と交流する機会はあまりないので貴重なお話を聞いてよかったです。
美味しい支部銘菓（12件）	<ul style="list-style-type: none"> ・支部銘菓を頂けてとても美味しかったです。自分ではなかなか銘菓を食べる機会もないので凄く素敵な時間をもてました。ありがとうございました。
多世代との交流（6件）	<ul style="list-style-type: none"> ・普段関わることの無い先輩方とお話することが出来てとても良かったです。 ・このように様々な年齢でルカに関わっている人と交流することができるのはとても良かったです ・幅広い年代の方が集まるので、その分多くの事を伺うことができました。 ・幅広い年齢の人が集まっており、多くの先輩に色々な話を聞いてとても参考になりました。
今後への明るい見通し（6件）	<ul style="list-style-type: none"> ・実習や試験、就職に関連することなど、とても為になる話を聞くことが出来ました。 ・さらに今後に役立つ話もきけるなんて本当に最高の会でしたー！ ・大学での学習や就活など少し迷いがありましたが、これからの方向性がちょっと見えてきて、参加して良かったと思います。
軽食（おにぎり）が良かった（6件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょうどお腹が空く時間帯でしたので、おにぎりは最高でした！
今後開催への希望（6件）	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか先輩と後輩が交流できる機会が少ない大学かと思うので、このような機会はとても良いと思います。卒業して5年目くらいまでの先輩がいれば色々な就職のアドバイスも出来て、3年生とかの役に立てるのかなと思いました。意外と卒業生が少なく驚きました。もっと周知の仕方を工夫していけばいいのではないかと。 ・可能でしたら、小児科、産婦人科など、様々な分野で活躍される先輩方のお話を聞きたいと思いました。 ・卒業生は、病院だけでなくいろんな場で活躍していると知り、もっと色々な人の話を聞けたらうれしい。特に、海外で活動している方に話を聞く機会があったら嬉しい。 ・出身地名前が書いてあるような名札が欲しいと思いました。 ・始めに自己紹介などがあり、どの人物がどういう人なのかざっくりはじめに分かることができよかったです。しかし立ち上がったの自己紹介ではなかったので、あまり顔まで把握することはできず、皆一斉に移動してしまったので、どの人がどういう人なのかわからなくなってしまった。少し手間はかかってしまうかもしれないが、学年や所属によって違う色のネームタグ（色違いのネックストラップ）などを使用することで、どの人に話聞きたいかなど分かりやすくなるのではないかと感じられた。 ・時間的にも参加しやすい長さで、気軽さがとても良かったです。（新入生より）
次回も参加したい（5件）	<ul style="list-style-type: none"> ・このような場を設けていただいて本当に嬉しいです！来年もぜひ参加したいと思います
下級生との交流（2件）	<ul style="list-style-type: none"> ・下級生ともお話できて、自分自身を振り返る場にもなりました。 ・学部の一年生と話すきっかけとなり、非常に有意義な時間になりました。ありがとうございました！
その他（2件）	<ul style="list-style-type: none"> ・久々に先生とも会えて良かったです。 ・たまたまポスターを見て参加しました

り、多くの先輩に色々な話を聞けてとても参考になりました」といった【多世代交流（6件）】に関するもの、【次回も参加したい（5件）】と続いた。また、「大学での学習や就活など少し迷いがありましたが、これからの方向性がちょっと見えてきて、参加して良かったと思います」といった【今後への明るい見通し（3件）】に関するもの等があり、交流会は参加者におおむね、好印象であったと考えられる。

他に、「小児科や婦人科など様々な場で活躍している先輩の話が聞きたい」「5年目くらいの先輩がいればいい」「出身地が書いてあるような名札が欲しい」といった【今後の開催への希望（6件）】についてのコメントがあった。今後は、これらを踏まえ、プログラムを検討する必要がある。

IV. 今後に向けて

放課後の短い時間ではあるが、歓迎会では、和やかな交流の時間を持つことができ、先輩やOBへの質問も活発にされ、同窓会や縦のつながりへの関心が高まったことが感じられた。また、様々な学年からの参加がみられ、新入生のみならず上級生も他者と交流したいというニーズがあることが伺われた。

アンケート結果では「参加してとてもよかった」との回答が2018年、2019年ともに、9割以上を占めており、高い評価を得ている。アンケートの自由記述から、新入生や在校生は様々な年代の同窓生と接することで、現状の不安や今後の進路を検討するうえでの助けを得ていた。新入生は、交流を通して聖路加国際大学にて学ぶことに安心感を得たことが推察され、ここに交流の意義があると考えられる。核家族化が進み多世代間の交流の希薄さが話題となって久しいが、聖路加国際大学は看護教育100年の歴史を迎え、多くの卒業生を有している。本交流会が、同窓生世代と新入生や在校生世代の架け橋となることで、交流の輪が広がるであろう。また、早期からの同窓生と交流することでの、母校への帰属意識が高まり、同窓会活動のさらなる活性化も期待できる。今後は、参加者の意見等を踏まえ、交流会をよりよくするため、プログラムを検討する必要がある。

謝 辞

同窓会活動に多大なご支援をくださる学校法人聖路加国際大学糸魚川順理事長に心より御礼を申し上げます。また、聖路加同窓会埼玉県支部の青木康子監事、渡部尚子監事に深謝いたします。常に支部活動の推進に心を砕いてくださりありがとうございます。